



田辺東部小学校

田辺東部小学校 学校だより
令和2年12月号

2学期終了・冬休み

校庭の隅や植え込みの中には、冷たい風に引き寄せられたくすのきの落ち葉が、春を待つ生き物たちのしとねとなっています。落ち葉をそっとめくれば、冬支度を済ませた生命の息遣いが聞こえてきそうです。自然界でも年の瀬や新しい年へ向かっての新たな準備を始めているのでしょうか。

さて、12月24日（木）に2学期が終了し冬休みが始まります。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも長い2学期となり、授業日数85日間には、子供たちの様々な思いが込められていることでしょう。

学校としては、332名の子供たちの安全と健康を優先し、これまでの学校行事やコロナウイルス感染防止の対応を行ってきました。また子供たち一人ひとりの良さやその輝きを大切にしながら、認め励ますことができるよう、時には、子供たちと目線を同じにした指導を心掛け、微力ながら努力を積み重ねてまいりました。個々の子供たちの成長の度合いは一人ひとり違いますが、一步一步前進してきているものと信じています。

しかし、今後検討していかなければならない課題もあります。引き続き地道な努力で実りの有る取り組みを進めたいと考えています。

保護者並びに地域の皆様方には、常に温かい眼差しで、ご支援ご協力頂きましたことに厚く御礼申し上げます。

年が明けた2021年（令和3年）には、ご家族そろって健康なスタートを切り、充実した年になりますことを願っています。

楽しい一時 文化部体験教室

去る12月5日（土）に、文化部主催の「体験教室」が行われました。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止の対策を行いながらの活動となりましたが、講師先生を迎え、参加した子供たちは、新聞アートやバターナイフ、コースターの製作に取り組みました。

講師先生をはじめ、文化部員の方々、保護者の皆様にご協力いただきながら、子供たちは、楽しいひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。



代替イベント開催

11月27日（金）にひがしコミュニティセンターで、ひがしふれあい秋祭り代替イベントが開催されました。6年生のために思い出に残る催しをできないものかということで、ひがしふれあい秋祭り実行委員会が中心となって、代替イベントを開催してくださいました。腹話術の舞台発表やクイズなど、子供たちは楽しそうに活動していました。



幼稚園との交流会（1年生）

11月30日（月）にシオン幼稚園の年長さんと1年生との交流会がありました。1年生は「もの名前」で学習したことを生かしてグループでお店を開き、来年入学する園児たちが楽しく買い物ができるように、「いらっしゃいませ」と笑顔で対応していました。お金も品物も1年生



の手作りで、短時間の交流でしたが、楽しんでもらえたようです。

一生懸命走った校内持久走記録会

校内持久走記録会が12月9日・10日に行われました。晴天の下で子供たちが一生懸命走る姿が印象的でした。自己ベストを目指して、朝の5分間走や体育の時間に練習を続けてきた成果を出し切り走り、最後までがんばりました。

保護者の皆様、子供たちを温かく見守っていただきありがとうございました。



令和3年1月号（2021年）

公民館だより

ひがし地区 人口 及び 世帯数(11月末現在)

人 口 5,895人 2,866世帯
(男性) 2,789人
(女性) 3,106人



編集・発行 田辺市南新万28番1号 田辺市ひがし公民館 館長：濱野 公二 主事：谷口 美帆

TEL：22-2088 FAX：81-3301 田辺市ホームページ <http://city.tanabe.lg.jp/>

明けましておめでとうございます。
コロナ禍の中、終息を願いつつ、今年も皆様のご健康とご多幸をお祈ります。

2020年が去り、2021年が始まりました。2020年は、新型コロナ感染拡大により、不自由で忍耐の一年だったのではないのでしょうか。そして今でも続いています。世界中が、目に見えないウイルスに支配され、人間は、少なからず死と後遺症の恐怖を感じながら、これまでのような生活ができない日常が続いています。感染予防のため、常にマスクを着用し手洗いを励行し3密を避けて行動しなければなりません。また、外出を自粛したり友達や同僚とも握手もできず、長時間話したり食事をすることもできません。やはり私達にとって、互いに交流を制限されることは苦痛です。

しかしながら、コロナウイルスについての研究が進み、ワクチンが開発されイギリスを始めとして欧米で接種が始まりました。日本でも「来年度早々には」と期待されつつありますが、まず日本人に対するワクチンの安全性と有効性の確認、そして輸送や保存の面でもまだまだ越えなければならないハードルが多くあります。

2021年も、まだコロナと付き合っていかなければならないようです。私達は、新型コロナウイルスを科学的に正しく理解して正しく恐れて、消極的では無く積極的にできる範囲で活動して生活を享受していくことが最善の方法でしょう。

公民館としても、昨年は残念ながら、全ての行事が中止となり、秋祭りの子供たちの元気な声を聞くことができませんでした。2021年夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるように進められているようですが、公民館も、今年は様々な行事を通して子供から大人・高齢者の方々まで交流を深めていけたらと願うばかりです。

まだまだしばらくはウィズコロナの生活が続きそうです。また、インフルエンザの流行も否定できません。くれぐれも健康に十分留意して、どうぞご自愛ください。

今年は丑年です。日本では雄と雌を区別せず、単に「牛」と言いますが、これに相当する英単語はありません。英語では、西部劇に出てくるcowboy [カウボーイ] で有名なcow [カウ] がよく使われますが、厳密には雌牛のことです。雄牛は去勢したox [オクス] と去勢していないbull [ブル] と区別して言います。また子牛はcalf [カフ] と言い、集合としての牛を表すcattle [キャットウル] という語もあります。ところで、十二支の「丑年」はthe year of the Oxで、「牡牛座」は一般的にはthe Bull、天文学ではTaurus [トーラス] と言います。ちなみに、「馬」は、雄と雌を区別しないでhorse [ホース] という一語しかありません。牛は、欧米では昔から人にとって大変身近で有益な家畜だったことが分かります。

中止 新春みんなで歩こう会・走ろう会

ひがし公民館体育委員会で協議した結果、令和3年「新春みんなで歩こう会・走ろう会」を中止することと決定いたしました。

LINEでスマホをちょこっと学ぼう

ひがし公民館では、スマホの操作方法などを気軽に学ぶことができるサービスを提供していきます！
ご自宅など、いつでもどこでも学ぶことができますので、是非ご利用ください！



今月の内容はこちら！

LINEで連絡先を送る・受け取った連絡先の登録方法



重要！

ひがし公民館LINEアカウントからの配信となりますので、
利用される際には友達登録が必要です。

STEP1

公民館LINEアカウントのトーク画面を開きます。

STEP2

メッセージで「送り方」もしくは「登録方法」と入力し、送信します。

STEP3

すると、短い動画が送られてくるので、その動画を参考にしてみてください！



今回の操作方法で、公民館アカウントをお友達に
送っていただけたら嬉しいです！
※多少の通信料が発生しますので、Wi-Fi環境で
の使用を推奨します。

ひがし公民館のLINEQRコード→
LINEID→「@340kcabe」



年末年始の開館について

ひがしコミュニティセンターは、年末年始の期間（令和2年12月29日から令和3年1月3日）休館となります。休館に伴い、リサイクルボックス（古紙回収ステーション）のご利用もできませんので、あらかじめご了承ください。

空気が乾燥していて火災の多い季節です。小学校が隣接していることもあり、出火の原因となる恐れがあり大変危険ですので、絶対に古紙などをボックス前に置いて帰らないでください。
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

新春大抽選会

今年度、「ひがしふれあい秋祭り」も「新春みんなで歩こう会・走ろう会」も新型コロナウイルス感染防止のため中止になりました。代わりに豪華景品が当たる「新春大抽選会」を行います。皆様、奮ってご参加ください。

申込み：令和3年1月4日(月)～1月8日(金)に、公民館受付の箱の中に入れてください。

商品引換え：令和3年1月13日(水)～1月19日(火)(土日除く)に、公民館事務室までお越しください。

抽選券

氏名：

住所：

電話：

抽選券（控）

公開抽選会

日時：令和3年1月12日(火)

午後7時00分～

場所：田辺市ひがし公民館

1階大集会室

発表：公民館1階に掲示

※抽選券（控）は景品交換時に必要となりますので、捨てずにお持ちください。（再発行はできません）



東陽中学校

田辺市立東陽中学校・学校だより
1月号 令和2年12月24日

12月24日に2学期終業式を行い、25日から1月7日まで冬休みに入ります。早いもので令和2年も残り僅かとなりました。今年度の2学期は、8月17日から始まり例年より長い学期となりました。コロナ禍の中でしたが、できる限り行事を実施してきました。ただ、生徒たちの取組を多くの皆様に観ていただくことはできませんでした。しかし、生徒たちにとっては仲間と創り上げ成功させた経験を通して、個々の成長と集団の向上が感じられた2学期であったように思います。生徒の頑張りをたたえとともに、常に支え応援していただいている保護者の皆様、温かく見守って頂いた地域の皆様に感謝申し上げます。

さて、1月から3年生は、いよいよ卒業、入試に向けて、1、2年生は進級に向けて、年度の仕上げの時となります。「千里の道も一歩から」という言葉をよく聞きます。「大きな事柄でもまずは目の前のことをこなすところから着実に努力を続けていけば成功する」という意味になります。どんなことでも一歩ずつ、着実に進めることが大切だという「老子」の教えです。それぞれの目標に向かって1日1日を大切に、努力を惜しまず学校生活を送って貰いたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、今後も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い致します。どうぞよいお年をお迎えください。

12月の行事より

【健康教室】12月4日(金) 14日(月)

毎年、全学年で健康教室を行っています。今年も、12月4日（金）に1年生が「たばこの害」について初山歯科医師に。14日（月）に2年生「アルコールの害」、3年生「薬物乱用防止」について、田辺青少年センター職員の方々をお迎えしてそれぞれ健康の大切さを学びました。

【防災学習】12月15日(火)

今年の防災学習は、講師に兵庫県立舞子高校元校長で防災士でもある谷川彰一氏をお迎えし、3年生が防災について学びました。舞子高校は、阪神淡路震災直後から市民救命士（心肺蘇生法）の資格取得に全校で取り組み、全国で唯一防災教育を専門に行う環境防災科がある高校である。今回の防災学習では、協調学習によって生徒が自分事として次の災害について考え、将来、防災リーダーとして地域を守り、次代を担う若者として成長していくための一助となることを目的に指導していただきました。講話では、防災活動に取り組む高校生たちの姿に触れ、人のためや社会のために役立ちたいという貢献的な使命感、つまり、志が芽生えるようにと舞子高校の取り組みを紹介しながら話していただきました。また、防災の基礎知識を得た上で、近い将来に起こると予想される南海トラフ巨大地震では、備えの充実が減災に直結することを理解し、過去の教訓をつぎに生かし、防災意識を高めていくことをねらいとしました。生徒相互による協調学習では、阪神淡路大震災、東日本大震災、西日本豪雨災害など過去の災害からの教訓を次の備えにどのように活かしていくのかを考え合い、仲間と意見を伝え合うことで、次の災害に向けて自分たちで自分たちの地域を守り、主体的に行動できるようにしていくことを学びあいました。「協調学習」では、知識構成型ジグソー法という学習法を用い対話の中で互いの知識を持ち寄り、自分の考えをブラッシュアップしながら、自分の答えを作り上げる学びを体験しました。最後に次の災害に向けて自分たちで自分たちの地域を守っていくために、何ができるのかを確かめ合い、家族で防災について考えるようにすることを宿題としていただきました。

